

【神戸・淡路】

安藤忠雄の建築と 兵庫県立美術館の「具体」を訪ねて



兵庫県立美術館

世界的建築家の安藤忠雄設計の兵庫県内の代表的建築物である淡路夢舞台と兵庫県立美術館を見学するコース。美術館では同館コレクションの山村コレクションの特別展（世界的に評価が高まっている「具体」を中心とした展示）や、今年5月に増設されたAndo Galleryを見学。淡路島へ渡る際の、明石海峡大橋からの雄大な眺望も見物です。

行程

※行程は予告なしに変更することがあります

- 9:00（集合） 京都駅八条口 貸切バス乗降場 =====貸切バス=====
- 11:00 - 12:15 淡路夢舞台 百壇苑など 見学 徒 歩.....
- 12:15 - 13:30 昼 食（※自己負担） =====貸切バス=====
- 14:15 - 16:15 兵庫県美術館 [集めた！日本の前衛—山村太郎の眼 山村コレクション展] 見学
=====貸切バス=====
- 17:45（解散） 京都駅

〈注意事項〉本コースは、昼食代が自己負担です。（1,500円～2,000円を予定）

兵庫県立美術館：世界的建築家の安藤忠雄の設計により建築された同館は、阪神・淡路大震災の復興のシンボルとして開館。西日本最大級の規模を誇る美術館です。今年5月には安藤忠雄の作品模型等を展示するAndo Galleryが増設オープンします。

山村コレクション展：山村コレクションは、兵庫在住の企業家・山村徳太郎氏が収集し、1987年に兵庫県立美術館に一括収蔵されました。国際的に評価の高い「具体」を含む現代美術の作品群を約20年ぶりに一挙公開します。

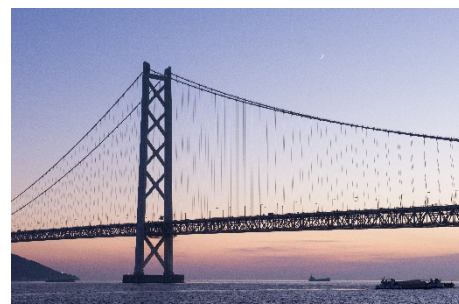
淡路夢舞台：淡路島の東岸、海を望む高台に位置する国際会議場やリゾートホテル、野外劇場、花壇等から構成される複合施設。関西国際空港の土取り跡地であった場所が花と緑で再生されました。各施設は、安藤忠雄が設計。



淡路夢舞台



兵庫県立美術館（Ando Gallery）



明石海峡大橋 ©KOBE TOURISM BUREAU